

# 「東二小やる気キッズ」

青葉区中央市民センター（地区館×区中央）

## 1 事業概要

仙台市立東二番丁小学校の児童が「東二小やる気キッズ」メンバーとして、地域の人や子どもたちに喜んでもらえること・楽しんでもらえることをテーマに企画・運営を行い、学校以外の場で異年齢児童や市民センター職員等と一緒に活動することで、自己肯定感を高めることを目的としました。また、自分たちの興味関心を形にできる機会や地域の人々と交流する場を提供することで、地域への理解を深め、児童の豊かな人間性や健やかな成長につなげます。



## 2 令和4年度の活動

ボウリングゲーム



ピッチングゲーム



仙台市立東二番丁小学校の児童12人（1年生3人、2年生5人、3年生2人、4年生2人）が、企画講座実施に向けて青葉区中央市民センターで7月から話し合いのための定例会をスタートし、準備を重ねてきました。10月29日（土）に「ハロウィン・スポーツパーティー」を開催し、自分たちで決めたルールや役割に沿ってゲームの運営を行いました。本番当日は42人（小学生12人、幼児6人、大人24人）が参加し、「ゲームがとても楽しくて説明がわかりやすかった」「子どもたちがリーダーシップを発揮していてかっこ良かった」などの声が寄せられました。やる気キッズメンバーだけでなく参加者にも仮装での参加を呼びかけたところ、ハロウィン気分を味わいながら楽しんでゲームに参加してもらう事ができました。最後の定例会では全体の活動を通しての振り返りを行いました。

## 3 成果と課題

子どもたちが協力しながら企画・運営を行うことで、やりがいや達成感を感じ、主体的な行動力や探求心を育むことが出来ました。学年や年齢をこえた交流も図られ、本番当日は中高生のジュニアリーダーのサポートも得ながら運営することで世代間交流にもつながりました。企画・運営の経験を通して、子どもたち同士気づきや学びを共有することが出来ました。学年の違いによる理解度を認識し、調整を図っていく必要性を感じました。



## 4 今後の展望



子どもたちが地域の活動に積極的に参加することは、将来的に地域に目を向けるきっかけや活性化へもつながります。学校以外の場でも、子どもたちが活躍できる場を提供し、子どもたち一人ひとりの意見や提案を尊重しながら形にしていく事で、社会性を育ていけるように支援していきたいと思ひます。